

概要：令和6年7月25日からの大雨において、浸水被害が発生した戸沢村周辺の浸水の範囲と深さを示した浸水推定図を発災直後に整備し、関係機関に提供。提供した図は、関係機関において被害状況の把握とその後の判断のために利用された。

府省庁名：国土交通省

- 実施主体：国土交通省 国土地理院
- 実施場所：最上川流域（山形県戸沢村、大蔵村、新庄市、舟形町）
- 事業概要：発災時に迅速に浸水推定図を整備するため、事前に水害危険度が高い地域の地形データ等を整備。令和6年7月25日からの大雨では、事前に整備したデータを活用して被害状況を迅速に把握するため、標高データと災害対用ヘリコプターから撮影された画像をもとに、浸水の範囲と深さを地図上に示した浸水推定図を整備、提供した。

- 事業費：約5000万円（令和6年度）
- 効果概要：令和6年7月25日からの大雨では最上川を含む2水系4河川で氾濫が発生。地形データを事前に整備していたことで、氾濫した最上川における浸水推定図の作成時間を短縮。浸水推定図は東北地方整備局及び山形県の災害対策本部へ発災当日に提供され、浸水エリアの把握や、排水ポンプ車の機種選定のための資料として活用された。

7/25~26

河川の氾濫により水害発生

7/26 撮影



被害状況（戸沢村）

7/26 浸水推定図を整備・提供



浸水推定図（戸沢村周辺）